

地域と共生する再エネ

バイオマス発電

県産材の未利用材を乾燥処理しガス化発電を実施。

令和4年8月より、1,750kWの発電を行うとともに、発生する約3,500kWの廃熱をチップ乾燥処理のほか、農業にも利用（温室加温）。



国内で実績のなかった木質バイオガス化発電の導入に際しては、資金調達やノウハウ、必要技術の確保に苦慮。

地元の観光や産業振興・雇用等に貢献するため、社と市との間で、「地域活性化企業立地協定」を締結。発電所、食品加工乾燥施設、農園で地域雇用を創出。協定に基づき災害時対応も行う計画。



発電とともに発生する廃熱の有効活用

[詳しくはこちら>](#)

八代市木質バイオマス熱電併給事業（熊本県八代市）